

CELULAS



ピアサ
NPO法人 多言語広場セルラス

2015

Vol. 2

世界に通じる人材の育成をめざして



CONTENTS

- P.2 人に向き合うと、ことばができる
- P.3 青少年アメリカホームステイ報告
- P.4-5 **特集:「セルラス青少年サマーキャンプ2015」**
 - ～違いは大切な宝物～
 - ～みんなで見つけて育てることば～
- P.6 セルラスが会った留学生
 - ～沈暘(シンヨウ)さん(中国)～
 - 留学生に聞きました!日本のココにびっくり～安全編～
 - セルラスクイズ ～中国編～
- P.7 お父さんの目線
 - ～多言語だから生まれたSO EXCITINGな瞬間～
 - 世界のレシピ
 - ～作ってみよう!チャンちゃんのバインセオ～
- P.8 INFORMATION

人に向き合うと、ことばができる

石川茂子コーディネーター 厚木ピアザ

今年8/22~27の日程で、モスクワのアニータの家族に会いに行ってきました！アニータは、今年の2月にできたセルラスのロシア語CDの声優であり、我が家にも1泊でホームステイしたことがあるロシア人留学生です。普段は日本の専門学校で美術を勉強しているのですが、夏休みにちょうど帰省していたため、彼女に誘われてモスクワのおうちを訪ねて来ました。

『ことばをあまり知らないときほど、楽しい!？』

お父さんは、ロシアの歴史、モスクワの町の成り立ち、ロシアの文化や著名な作家についてなどなど、ずっとロシア語でしゃべり続けてくれました。おばあちゃんは、アニータの小さい頃の話などをいっぱいロシア語でしてくれました。お母さんは英語だったり、ロシア語だったり、アニータはいつも通り私とは日本語……でも実は、誰と何語で話したかは、はっきりとは覚えていないのです。そして不思議なことに、今回ロシアでは、ほぼ2年前にセルラスの交流でメキシコにホームステイしたときよりずっと、「わかる!」「知ってる!」「話せる!」感がいっぱいだったのです。

ロシア語は、今年の初めにセルラスオリジナルCDが出たばかり、聞き始めて半年です。スペイン語の方が、ことばに接していた時間やシャドウイング歴はうんと長いのです。それなのに、このロシア語に対する私の自信<何でも話せる感覚>は、一体どこから来たのでしょうか!?

『ことばをあまり知らないときほど楽しい!』という、かつての私だったら信じられないようなことが、起こったのです。



『ことばに向かうのではなく、「人に向きあう」スタンス』

考えてみたら、メキシコの時よりことばにフォーカスしていませんでした。ロシア語がどのくらい話せるかなんて、こだわる余裕もないくらいにロシア語を知らないのがよかったのかもしれない。そうすると、ことばに向かうのではなく、必然的に相手に直接向かわざるを得ないのです。相手を全身全霊でわかろうとすると、想像力がフル回転して、わからないことにフォーカスするのではなく、わかることにフォーカスできるようになるんですね。

特に大好きなアニータのことを話しているときは、全部ロシア語でもわかりました。

とにかくほんのちょっとしかことばを知らないのに、まるで2歳児のように「わかる!」「知ってる!」と、どんどん話してしまう。それは耳も心も人に開いていたからです。この、赤ちゃんになれる能力、子供のような根拠のない自信は、セルラスの環境で育ちました。日常のピアザにいるときは、それほど実感がなかったけれど、実際ロシアに行ってこんなにも話せたのかと心底驚きました。

英語はどこまでやってもまだまだだと思っていた私が、セルラスの環境の中で、少しずつ変わっていったのです。



左:アニータ・キムさん



『セルラスのストーリーを 思いっきり楽しむことの威力!』

セルラスストーリーの「自慢の娘」という場面で初めて触れたロシア語。でもみんなで想像力&創造力を働かせて状況を設定したロールプレイをさんざん楽しんできたおかげで、この場面のロシア語は、すでに遠い外国語ではなくなっていたのだと思いました。

料理の説明のときは「アグリューツィ、バクラジャーニ…」、話すときは「ガバリーシュ」など、聞いた音がいっぱい出てきて、その度に私が反応するので、「ロシア語できるんだね!」と言われました。

特に使って感心されたことばは、「スンマソイチ」「プロストウームニチカ」「カーク」「ブラウダ」「リュビーマヤ ドーチ」「フチェラ」などなど、全部「自慢の娘」にあることばです。家族の自慢の娘であるアニータを話題にするのに、この場面はぴったりでした。

そして文化も知ってる感がありました。着いたらすぐに、「タマラ」とロシアの呼び名をつけてもらったこと、乾杯の前にスピーチすること、「ちょっとだけ」と言ったのに、山ほど食事を盛られてしまうことなどなど、全部セルラスストーリーで知っていました。

この、ロシアは初めてなのに知っていることだらけという状態が、すごく楽しく刺激的で心が全開になったのだと思います。

『ことばを覚えるためのロールプレイ』ではなく、「物語を息づかせるためのロールプレイ」の力を、私はロシアで深く実感しました。



青少年アメリカホームステイ報告

セルラスでは、提携教育機関のNPO法人ユートレックのプログラムに毎年青少年会員を派遣しており、今年も4人の小中学生メンバーがアメリカホームステイ交流に参加しました。ホームステイでは、お客様ではなく家族の一員となり、文化や習慣、言語などを学び、温かい人間関係を築きながらその国の日常生活を体験します。日本との違いを肌で感じ、沢山のチャレンジをしてきた彼らは、一回りも二回りも成長して帰国しました。



なによりこの経験を通して感じたことは、「伝えようとする気持ち、相手のことを分かるようにしようとする気持ちがあつて通じ合える」ということです。英単語だけでは相手に伝わらないのです。私がアメリカで会話に困らなかったのは、この気持ちを持って相手に向き合えたからだと思います。

山田雪菜 小6 芦屋ピアザ (コタ州 1ヶ月)



私はセルラスの活動をしてなかったら、アメリカホームステイをしたいと思いますし、なかったと思います。セルラスの発表などで人の前に立つ機会が多く、人前で話すことが平気になりました。これからもこの活動を通して成長していきたいです。

林 美珠珈 小5 三宮ピアザ (コタ州 1ヶ月)

この活動を通して親子で育んでいきたい人との和

東灘ピアザ 篠原由美さん
(篠原沙織さんのお母様)

私の娘が「アメリカに行きたい」と言い出した当初、アメリカにホームステイに行くという意味を本当に理解しているのかと心配しましたが、本人は「楽しみ」と「早く行きたい」という気持ちを、どんな準備会ではいつも**一番前の席**に座り、必要なことはメモを取り、質問にはすぐ答え、主催者からアメリカへ行く自覚と積極性をいつも褒められていました。また、アメリカへ行くためのインフォメーションシートは、枚数も大変多かったのですが、これを自分で全て書いていた小学生は初めて見ましたと、かなり感心されました。一緒に行った中高生の中には、お母さんに書いて貰っていた子もいたようです。

「自分が行くんだもん、当たり前でしょ」と言うセルラスキッズの**意識の高さ**には私も驚きました。積極性や自立性もセルラスの活動を通じて育っているのだと思います。

娘は**帰国して**ホームステイは楽しかったと話しています。娘の体験談を聞けば聞くほど「アメリカはそんなに甘くない」と感じました。アメリカはたくさんの人種がいて当たり前前の国です。日本人だからとか、小さいからとか**特別扱い**は一切ないようです。

娘が参加したキャンプでは、一緒にキャンプの子がホームシックでずっと泣いていたそうです。その子に声を掛けるのは日本人だけで、アメリカの子は相手からアクションがあれば応えるけれど、無ければ放置され、そのうち、その子はキャンプ場から居なくなっていたということがあったそうです。

それを聞いた時、どの写真を見ても真ん中で肩を組んでいる娘は、抱きついて貰っていない娘は、言葉もあまり分からないだろうに、**相当頑張った**のだなど、親バカかもしれません。人と向き合うという事は、言葉ではなく「心」、「気持ち」を表現する事なのだと思改めて感じました。

英語の得意な娘の幼なじみが「外国人が怖くて話が出来ない」と言うのを聞いて、とても驚いたことがあったのですが、いくら言葉が話せても、相手としっかり向き合えなければコミュニケーションにならない事を、娘を通して理解できました。セルラスはそれが出来る子ども達を育てている事が証明できたと思います。

娘はワンマンショーが上手に出来る訳でもなく、シャドウイングがスラスラ言える訳でもありません。ただ一つ言える事は、毎週のピアザを休まず、その場で一生懸命、「話す」「伝える」「聴く」という事を続けてきました。これからもピアザを通して、子ども達だけでなく、私達大人も、人との和を広げていけたらと感じています。



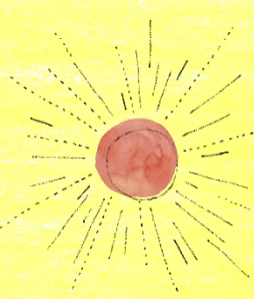
キャンプでは150人のアメリカ人の中に、日本人は5人だったけど、セルラスの活動で色々な国の人に出会ったことがあるので、アメリカ人ばかりでもあまり気になりませんでした。

篠原沙織 小4 東灘ピアザ (ワシントン州 2週間)



全く知らない人と、他国の言葉でコミュニケーションがとれたことで自信がつき、前よりも積極的に、何事にも挑戦するようになったと思います！

菅原悠希 中2 中野ピアザ (ワシントン州 2週間)



Summer Camp



8月17日(月)〜20日(木)の3泊4日、静岡市南アルプススエスコエコパーク井川自然の家にて、セルラス青少年サマーキャンプ2015が実施されました。

関東・関西から参加した小・中・高校生のセルラスメンバーの他、セルラスで育った日本の大学生リーダー2名、留学生リーダー8名(ケニア・タイ・香港・中国・マレーシア・ロシア・ベトナム・セネガル*正式名称は略します。)大人のスタッフも合わせて、総勢131名のキャンプになりました。

今回のキャンプの中心的テーマは

「違いは大切な宝物」

「みんなで見つけて育てる」とは

このテーマは、合同ピアザも含め、3回の準備会を通して、参加者みんなで考えながら、当日を迎えました。相手に(違いに)向かって開かれた心と耳を持った人間は、グローバル時代を生き抜いていける人材であると確信しています。

そのようなスタンスを持った人間になることで、初めて「みんなでことばを見つけて育てていく」ことが実現できるのではないのでしょうか？

初めてのキャンプ、自分の目標を達成！

杉崎里奈(小3・東高円寺ピアザ)

わたしは、今回が初めてのキャンプでした。行く前はいろいろなことが不安でした。1日目はあまり友だちを作ったり、意見は言えませんでした。けれど、2日目は、友だちをいっぱい作ったり、意見をたくさん言ったりして、楽しい一日でした。3日目は、野外活動やワンマンショーや「違いは大切な宝物」のディスカッションなどをやりました。野外活動では、ピクニック広場に行き、お弁当を食べるときのおしゃべりが楽しかったです。「違いは大切な宝物」ディスカッションではいろいろな意見が出てきて、違いは大切な宝物とわかりました。4日目のロールプレイマラソンでは、3回目の桃太郎の設定が楽しかったです。わたしは3泊4日の中で、サンクスパーティーのカンパイの時の「アリーバ!アバッホ!アセントロイ パラ ディエントロ、サルー!」という言葉を感じました。1番嬉しかったことは、友だちとなかよくするという目標が達成できたことです。3泊4日楽しかったです。

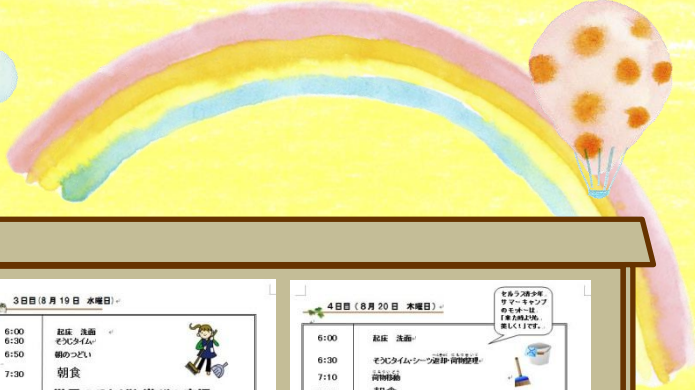


キャンプで大きく変わった!

鈴木快昂(中1・厚木ピアザ)

1日目に一番心に残ったこと、感じたことは、理事長が中学生を集めて話したことです。理事長は、「中学生はもう自分が楽しむだけでなく、他の人を楽しませることも大切」と言いました。まとめることも大切と言っていて、「話を聞いてくれないからあきらめるのではなく、どうすれば聞いてくれるか考えるのが大切」という言葉が心にとっても残りました。この話を聞いて、僕は今まで意見を言ってくれなかったのは聞き方が悪かったのかもと思い、キャンプに初めて来た子や緊張している子、はしゃいでいる子とかに、それぞれ違う聞き方で意見を聞いてみました。そうしたら意見を言ってくれたので、理事長が言っていたことが実感できました。2日目は、グループの中学生のプレゼンが心にしみました。彼は「チャンスは皆たくさんあるが、チャンスと感じて、全力で取り組むか、怖くて逃げるかで成長するかしらないかが変わる」と言いました。僕は、このプレゼンを聞くまでは、積極的ではなかったけど、プレゼンを聞いて、チャンスから全部逃げていたらキャンプに来ている意味がないと思い、積極的にになりました。キャンプに行って本当に良かったです。





セルラス若狭少年キャンプ2015 日程表		2日目(8月18日 火曜日)		3日目(8月19日 水曜日)		4日目(8月20日 木曜日)			
1日目(8月17日 月曜日)		6:00 起床 洗面 6:30 モックタイム 6:50 朝のついで 7:30 朝食 8:30 グループ活動③ 10:00 野外活動 / ハイキング 11:00 グループ対抗ゲーム大賞 12:30 昼食 (野外でお弁当) 14:30 午後活動タイム 15:30 グループ活動④ 17:00 フォーラム 夕食 18:30 グループ活動⑤ 20:00 フォーラム 20:30 お風呂 21:30 就寝準備 22:00 消灯		6:00 起床 洗面 6:30 モックタイム 6:50 朝のついで 7:30 朝食 8:30 グループ活動③ 10:00 野外活動 / ハイキング 11:00 グループ対抗ゲーム大賞 12:30 昼食 (野外でお弁当) 14:30 午後活動タイム 15:30 グループ活動④ 17:00 フォーラム 夕食 18:30 グループ活動⑤ 20:00 フォーラム 20:30 お風呂 21:30 就寝準備 22:00 消灯		6:00 起床 洗面 6:30 モックタイム 6:50 朝のついで 7:30 朝食 8:30 世界のことばと遊びの広場 10:15 ことばと心の扉を叩いてタイム 12:00 昼食 13:00 エス・イカ割り 14:30 グループ活動⑤ 17:00 フォーラムに合わせた準備 夕食 18:20 池畔へ移動 18:30 キャンプファイヤー 20:30 お風呂 21:30 就寝準備 22:00 消灯		6:00 起床 洗面 6:30 モックタイム 6:50 朝のついで 7:30 朝食 8:30 ロールブレイマラソン(90分) 朝食 10:20 クロージング・セレモニー グループお別れ会 11:40 全員写真撮影 11:45 全員写真撮影 12:05 お弁当を持って、岡西組出発! 12:15 履き替え・昼食 13:15 岡西組出発!	

意見を言うことが楽しくなった!

勝野翔太(小4・学園都市ピアザ)

1日目は全然意見を出さなかったけど、2日目からはいっぱい意見を出したら、「それ、いいね」とか、「それしよう」とか言ってくれたので、3日目・4日目はさらにいっぱい意見を出しました。

意見が出過ぎて、まとまらないこともありました。とくに4日目は、考えるとすごく短い時間で、意見がいっぱい出ました。自己アピールや自己紹介も一番にしました。僕はキャンプに行ったのが初めてだったから「すごいね!」って言ってきてよかったです。Jrリーダーは、みんなの意見を早くまとめたり、みんなの前で発表したりします。僕は意見を出すだけではなくて、みんなの意見をまとめられるJrリーダーになりたいです。忘れられないほど記憶に残る楽しいキャンプになりました。来年はもっと楽しめるようにピアザでも家でも頑張ります。



どこの国旗かわかる?

子ども達の、お互いを分かり合う力は素晴らしい!

Tran Yick Ching (エドマン) 上智大学 言語学習修士課程2年

僕はキャンプでとにかく子ども達と遊びながら交流を図った。遊びばかりしていたと見えるかも? でも自分は言語学を学んでいるので、学術的なことを考えていた。アクセントやことばが違う関西と関東。最初は言葉の違いで関東の子か関西の子か区別していた。でも2日目になったら、関東の子たちが関西弁を話し始めていたので、区別できなくなった。お互いを分かり合うことは素晴らしいと思った。言語・方言にレベルを無意識のうちに付けて、マイナーだと思われる言葉話す人を差別してしまうことがよくある。言葉は先人達から伝えられた宝物で、誰でも自分に伝えられた言葉を使う権利があることを忘れてはいけない。相手を尊重し、相手を理解したいという気持ちで、一言だけでも相手の言葉で話したら、絶対喜んでくれる。言葉は人を差別する基準ではなく、人を繋ぐもの。子どもたちとの交流を通じて、お互いを分かり合う大切さを改めて学べたキャンプだった。



セルラスが会った留学生



沈暘(シン ヨウ)さん：弁護士
(ニックネーム：ヤンヤン)

「人」との交流が出来るセルラス

你好、中国・杭州市出身のヤンヤンです。セルラスのいいところは語りつくせないです。国際交流と言えば、言語や文化の交流が大事だと思われがちですが、外国人である前に人としての付き合いが大事だと思います。日本に留学した当時、私は中国人としてのアイデンティティーとは何かとすごく悩んだ時期がありました。セルラスでの交流は異文化交流と言うより人との交流という意味が大きかったです。中国人とか韓国人とか日本人とか意識しないでいられたし、交流したいというまっすぐな気持ちをすごく感じました。私と話をして相手が本当にうれしかったと感じられ、こちらも楽しませようなんて心配せずに気軽に何でも話しました。

セルラスでの国際交流と自身の成長

またいろんな国の留学生に会えて、今まで全く知らなかったことをたくさん知りました。アフリカや南米、東南アジアなど「ヤンヤン地図」にはそれまで載ってなかった地域の人と出会って、世界が広くなりました。キャンプや国際理解授業などのセルラスのイベントで日本の子どもたちに中国のことを紹介し、子どもたちと仲良くなれた体験から自分に自信が持て、ありのままであれば良いと思えるようになりました。

ただ今、育休中

私の仕事は、主に日本企業が中国市場に進出する際、または現地でビジネス活動を行う際の法律サポートで、法律環境や企業文化が大きく異なる日本と中国との間の架け橋になり、ビジネスや一般的な人的交流がもっとスムーズに行われるための提言をさせて頂いています。

2013年に日本人の夫と結婚し、2014年に長男を出産し、現在は育休中で、兵庫県に住んでいます。赤ちゃんの学習能力の高さに驚きながら、初心に戻って、赤ちゃんと一緒に成長する毎日を過ごしています。これからも、日中の違い、及び関東と関西の違いを肌で感じながら、日本での子育てを楽しみたいと思います。

プロフィール：

北京語言大学日本語学科で2年間日本語を勉強し、2005年から金沢にある北陸大学法学部3年に編入、法律の勉強を始める。卒業後、東京大学大学院の修士・博士課程を経て、2012年より中国弁護士として、都内の法律事務所で勤務。

最近、日本のココが違うと感じたこと・・・

◆時間に非常に厳しい

日本の電車は時間通りに運行するので、主人や日本人の友達がいつも正確なスケジュールを立てることに驚きます。たとえば、「明日9時34分発の電車に乗りたくて、9時32分ごろに駅に着けば間に合うね」というような！病院の予約に10分遅刻したらキャンセル扱いになり2時間待たされたこともありました！

◆交渉・争うことを嫌う

法律事務所で働いていた頃、日本人のお客さんが契約交渉で中国に赴き、取引相手の中国企業と交渉したら、相手の契約変更条件をほぼすべて呑んでしまい、契約の種類まで変えられてしまったことがありました。

また、日本人のお母さんは、赤ちゃん同士が遊びながらおもちゃを取りあったり喧嘩したりすると、すぐに自分の子にダメとやめさせます。日本人が争い事を好まないのは、このころから教えられているのかと思いました。

◆自然の時期を大事にする

日本での日常生活では、食べ物や、花や景色など、「旬」や「時期」を大切にしていると思います。四季折々の祭りやイベントもあり、自然とともに生きていることを強く感じられるようになりました。



セルラスクイズ？

- ① 中国語ストーリーブックに出てくる、留学生(高校生以上)は、何カ国&何名いるでしょう？
- ② 中国人留学生・子謙(シケン)が日本の文化で大好きなものは何でしょう？



iQué sorpresa!
留學生に
聞きました!
日本の
ココにビックリ!
～安全編～

- ゲームしながら、音楽聞きながら道を歩けるなんて！
(襲われないの?)
- 子供がひとりりで公園で遊んだり電車に乗ってる！
(誘拐されないの?)
- 街中に自動販売機がたくさん！
(盗難に遭わないの?)
- 電車の中で居眠り出来るなんて！
(強盗に遭わないの?)
- 落とし物が返ってくる！
(なんで交番に届けられるの?)



お父さんの目線

多言語だから生まれたSO EXCITINGな瞬間

佐野桂一(梅田ピアザ)

ニプロ株式会社
秘書室 シニアマネージャー



9月のシルバーウィークの初日、ラグビーワールドカップ(W杯)英国大会において、日本代表(Brave Blossoms)がいきなり優勝候補の南アフリカを下し、この歴史的快挙に大いに興奮してしまいました。

次回のラグビーW杯は2019年に日本で、翌2020年には東京でオリンピックが開催されることは、SO EXCITING! セルラスメンバーなら(老いも若きも)「この国際的な一大イベントにボランティア登録し、積極的に参加しよう!! 家族そろってチャレンジするのもいいね!!」と大声で叫びたい思いです。

私がこれまで海外の人達と一緒に仕事やビジネスをして、何よりも大切に思うことは、お互いにリスペクトする心を持ち、深い信頼関係を築くことだと思います。でも、それが一瞬にして生まれたという経験をしたことがあります。

医療機器のメーカーで働く私のそのときのミッションは、最後の延命治療の方法で渡航心臓移植しかすべのない患者さんを数ヶ月の準備を経て、米国のオレゴンの大学病院まで、補助人工心臓を帯同して無事渡航の後、移植まで立ち会うことでした。院内の初ミーティングでお互いの自己紹介をした時、心臓移植の医師、移植コーディネーターをはじめ、専門看護チームのスタッフ達、約20名のほとんどが多国籍の出身者であることに驚きました。

この環境は日本では考えられないことです。

ひょんなことからマレーシア出身のひとりのナースにマレー語で自己紹介した時でした。

「He can speak my language!!」と叫んで、いきなりまるで自分の息子を紹介するように、強引に院内を連れまわし、同僚のスタッフを紹介してくれました。

ほんの一言のマレー語でしたが、その日以来、一気にお互いの気持ちが近づき、連帯感が生まれました。それから滞在中は毎朝モーニングコーヒーを入れてもらい、家族のように接してもらったことは忘れられません。

当然全員英語はしゃべりますが、英語だけのコミュニケーションではこんな奇跡は起こらなかったでしょう。

相手の言葉で話すことは、一気にと近づき、親近感を生むと初めて実感したのです。

セルラスの活動の素晴らしさは、子供から大人までみんな一緒に参加活動でき、多言語で世界に通じる人材を育成しながら、世界の人とつながる楽しさを、世代を超えて共有出来ることにあると思います。

これからも皆さんと、色々なSO EXCITINGな瞬間を、一緒にシェアしたいものです。

キャンプリーダー

作ってみよう!



チャンちゃんのバインセオ@ベトナム

材料) ★直径20cmのものが8枚ほど★

皮

- ・小麦粉 100グラム
- ・ターメリック 大さじ1
- ・牛乳 100cc
- ・ココナッツオイル 大さじ2
- ・湯 100cc

たれ

- ・ごま油 大さじ1
- ・スイートチリソース 大さじ1
- ・ナンプラー 大さじ1
- ・にんにくチューブ 小さじ2
- ・レモン汁 大さじ1

具

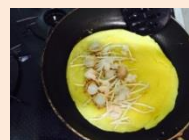
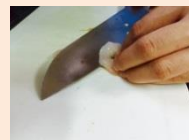
- ・もやし 1袋 & 冷凍小粒ホタテや小粒エビなど 約200g & 大葉 20枚

作り方)

- ①ボールに皮の材料をすべて入れ、よく混ぜる。
- ②ホタテ(エビなど)をフライパンで炒め、別皿に写し、こしょうを振る。(ホタテやエビは半分に切って炒めると火の通りが良いです。)
- ③フライパンに油を敷き、混ぜた皮の材料を流し入れ、強火で焼く。
- ④皮の上にもやしやホタテ(エビなど)をのせ、皮を半分に折ってかぶせる。
- ⑤皮の下に油を流し入れ強火でパリッと焼き、さらに移す。
- ⑥たれの材料をよく混ぜる。
- ⑦たれをつけて、大葉と一緒に食べる。
レタスやキュウリ・トマトと一緒に盛り付けると色が鮮やかに!!

ポイント)

- 終始強火で調理する。
- 小麦粉を米粉に、牛乳とココナッツオイルをココナッツミルクにすると、本場の味に近づきます。



原稿・4コマ漫画
～ご応募ありがとうございました～



ご応募いただいた方
には順次セルラス
特製缶バッジを
お送りします。
お楽しみに☆

毎バッチーも
もらっせよ

メルマガ第11号(8/25発行号)に寄稿文を掲載させていただいた大阪・西九条ピアザの角井さんご家族です。

引き続き、寄稿大募集!

セルラスの活動を通じての体験、変化、発見、などなど、あなたの思いを広報チームにお寄せ下さい! 応募者にはセルラス特製缶バッジをプレゼント、そしてさらに、機関紙・メルマガ・ホームページに掲載された方には特大缶バッジもプレゼント致します!

注) 原稿は随時受け付けますが、毎月末締切とさせていただきます。
また、応募規定があります。
詳しくは各ピアザコーディネーターまでお問い合わせください。



セルラスでは、全国各地で様々なイベントを開催中です。詳しくはセルラス ホームページをご覧ください! メルマガも随時配信中!



セルラス 検索

発行元

ピアザ セルラス

NPO法人 多言語広場CELULAS

本部事務局

〒151-0053

東京都渋谷区代々木2-23-1 ニュース付対-1038

TEL: 03-5333-8202 代表 FAX:03-5333-8203

URL: <http://www.celulas.or.jp>

関西事務所

〒553-0007

大阪市福島区大開1-10-10

TEL&FAX: 06-7493-7931

セルラスクイズの答え:

①14カ国、20名(香港は中国に含みます)

②日本の映画やドラマ、アニメ

～Disk 2-7.文化の違いを楽しむ～より

＝ 編集後記 ＝

iHola! ～こんにちは～

機関紙2号はいかがでしたか?

メンバーがこの夏に体験したセルラス青少年サマーキャンプや海外へのホームステイ体験は、行くだけで終わるのではなく、人に話すことで自分の体験を見つめ直し、思い出の中にある大切なことを新たに発見できます。また、人の体験を聞くことは、自分の世界を広げたり、体験を深めることができます。是非、これからもピアザで体験のシェアを大切に続けていきたいですね。

夏前より始まった寄稿募集企画、沢山のご応募ありがとうございました!

頂いた原稿はどれも素晴らしく、そのすべてを掲載出来ないのが大変心苦しくもあるのですが…

どうか、これからもどしどしご応募ください!

私たちが精一杯、皆さんの声、そして、セルラスの「今」をお伝えしていきます!

次号もお楽しみに～♪

広報プロジェクトチーム

石川茂子 河野美穂 笹倉一恵 夏目里香
林裕子 福山真弓 守田美和 (五十音順)